

【 第22回男子ジュニア世界選手権 】

2017年7月15日～7月28日 スペイン・ヴィーゴ

試合結果報告 7月25日 (木)

JAPAN	vs	バーレーン
12	1st	12
10	2nd	11
	ex	
	ex	
22	TOTAL	23

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	平尾 克己					0
2	高野 颯太					0
3	末岡 拓美	4	2			6
6	服部 将成	3	3			6
7	徳田 廉之介	3	1			4
11	藤田 龍雅	1				1
13	矢野 世人		1			1
15	櫻井 睦哉					0
16	中村 光					0
21	中村 翼					0
22	高橋 海					0
25	川崎 駿		3			3
27	大杉 拓巳					0
29	磯田 健太					0
31	青 雅俊					0
32	露木 涼	1				1
TOTAL		12	10	0	0	22

戦況

今大会最後の対戦相手はバーレーン。この試合に勝利して、プレジデントカップを手にした日本は先発メンバーは、左ウイングから矢野、服部、末岡、徳田、櫻井、大杉、GK中村。

日本は開始30秒、末岡のカットインシュートでこの試合の初得点を挙げる。落ち着いた立ち上がりを見せた日本であったが、バーレーンもそれに負けない試合運びを見せ、開始10分で5-5とどちらも抜け出せない状況が続く。

開始16分、退場者を出した場面でも、日本は6人攻撃などを用いて慌てることなく試合を進め、バーレーンにリードを許さない。25分からは、それまで得点のなかった徳田が3本のシュートを決め、12-12の同点で前半を折り返す。

後半に入ってから、両チーム一進一退の攻防が続く。この試合での最大の点差が2点であったことがそれを物語っている。

互いに譲らず試合は進み、残り40秒、川崎のロングシュートで22-22の同点に追いついた日本は、必死のDFを展開する。しかし、バーレーンのエース、アリにミドルを決められてしまい、22-23とされると追いつくことなく試合終了。

昨年アジア選手権では僅差で勝利していた相手であっただけに、悔しい敗戦となった。

報告記入者 :

船木 浩斗